



株式会社NFKホールディングス
平成20年3月期連結決算
補足資料

平成20年5月23日

(平成20年6月4日訂正版)

1. 決算サマリー (連結)

主な要因

科目	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	12,001	7,162
売上総利益	1,775	796
営業利益	198	449
経常利益	61	997
当期純利益	2,193	4,481
総資産	10,248	4,380
有利子負債	1,762	396
純資産	7,006	2,440
自己資本比率	64.3%	55.7%
現預金残高	1,883	966

- 不動産事業(株ユニバーサルハウジング)の減収
- (株ユニバーサルハウジング)の採算悪化
- (株ユニバーサルハウジング)の採算悪化
- (株ユニバーサルハウジング)の採算悪化
- 業績不振の子会社に対する引当金計上、投融資に対する引当・減損
- 不動産を含む子会社の切離し、投融資の整理
- 業績不振の子会社の切離し
- 当期純損失の計上

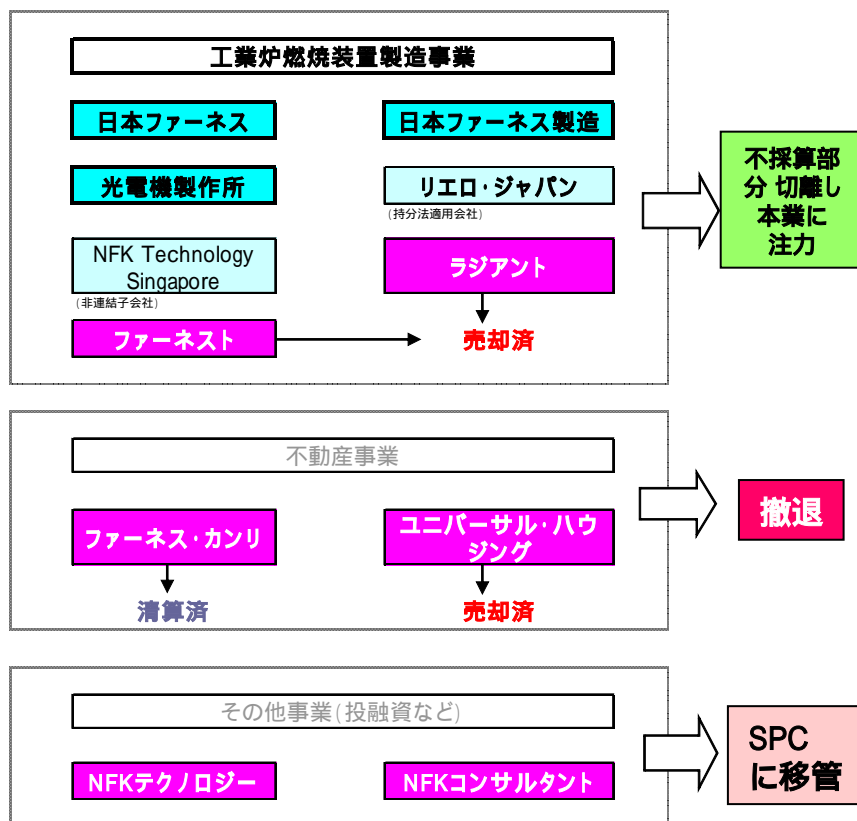
不動産事業の不振と過去の遺産の精算により多額の赤字を計上

財務体質の大胆なスリム化を達成

2. 平成20年3月期決算ハイライト

- 不動産事業(株)ユニバーサルハウジング)の大幅赤字により経常損益までの各項目で業績が悪化
 - 過去の投融資案件についての減損ならびに引当金計上が完了(特別損失を計上)
 - 業績不振の子会社(株)ユニバーサルハウジング、(株)ファーネスト等をグループ外に切離し
 - 主力子会社日本ファーネス(株)の業績が急回復、黒字基調が定着
 - 財務ポジションがスリム化
 - グループ再編の結果、連結有利子負債は平成19年12月末の3,509百万円から396百万円に減少
 - 連結棚卸資産は平成19年12月末の7,119百万円から493百万円に減少
 - 『投資その他の資産』は平成19年3月末の2,162百万円から610百万円に減少
- (内450百万円が上場株(3月末時価評価済)、他に保険積立金90百万円、持分法連結会社株式35百万円など)

3. グループ再編について



目的

1. 本業の燃焼技術関連事業に集中する態勢を整える
2. 不採算の事業から撤退して連結業績の向上を図る
3. グループの規模を適正化し内部統制を充実させる
4. 不良化した投融資について外部サービサーに移管し回収促進

主なポイント

- A. 不動産事業からの撤退
- ・ファーンレスカンリを清算
 - ・ユニバーサルハウジングの株式売却
- B. 不採算の燃焼関連事業を分離し
- ・ラジアント株式を経営陣に売却
 - ・ファーンレスト株式を経営陣に売却
- C. 投融資関連子会社の分離し
- ・NFKテクノロジーをサービサーが管理するSPCに移管
 - ・NFKコンサルタントをサービサーが管理するSPCに移管

財務のスリム化と、今期(H21年3月期)以降のスムーズな運営体制が確立

4. 損益について

経常損益の主要子会社別内訳

平成20年3月期連結決算

(単位:百万円)

科目	グループ連結	日本ファーンレス	ユニバーサル	ファーンレスト	その他
売上高	7,162	3,445	2,903	618	194
営業利益	449	238	420	203	63
経常利益	997	241	839	209	(1) 190

(1)対玄漁業に関する持分法投資損失108百万円を含む

特別損益の内訳

投資有価証券評価損	683	井上工業 664、その他 19
固定資産除却損	12	生産設備除却損 12
債権譲渡損	2,722	ユニバーサルハウジング 1,400、NFKコンサルタント 1,192、NFKテクノロジー 142 他
貸倒引当金繰入額	1,065	明治建物 900、ファーンレスト 142、その他 24
減損損失	168	ラジアントのれん等 136、ゲネシスのれん 31
その他特別損失	396	ユニバーサルハウジング貸倒損失 337、本社移転費用 18、他
特別損失計	5,049	
関係会社株式売却益	1,366	ユニバーサルハウジング、NFKコンサルタント、その他の関係会社の株式譲渡に係る売却益
その他特別利益	22	新株予約権戻入益、ゴルフ会員権売却益等
特別利益計	1,388	
ネット特別損失(-)	3,660	

5. 連結貸借対照表項目について

(単位:百万円)

科目	金額	主な内訳
流動資産	2,819	
現預金	966	
受取手形売掛金	1,310	川重商事 86、IHI 70、石川島汎用ボイラー 47、雪印乳業 34、太平洋金属 32 他
棚卸資産	493	仕掛品 395、製品用資材 91 他
その他	49	
有形固定資産	903	土地(横浜市尻手、静岡県掛川市) 737、建物・構築物 129、機械その他 37
無形固定資産	46	ソフトウェア 27、のれん 19
投資その他資産	610	
投資有価証券	497	井上工業 420、非連結子会社持分法連結会社 35、他上場株 30(各時価評価済)、その他 12
貸付金・更生債権等 (貸倒引当金)	1,115 1,115	明治建物 900、ファーネスト 142等(全額引当済)
保険積立金	90	日本生命 42、ソニー生命 32、その他 16
その他資産	23	敷金保証金 6、ノウハウ 4、その他 13
有利子負債	396	
短期借入金	320	井上工業株式売却等により、本年6月中に完済予定
1年以内長期借入金	15	光電機製作所が近畿大阪銀行から借入れているもの
長期借入金	61	同上 32、日本ファーネス製造による、みずほ銀行からの借入 29

6. 業績の内訳とコア業績の改善

平成20年3月期個別業績の概要

コアビジネス = 平成21年3月期も継続して連結対象となる会社(親会社 + 3社)

科目	(単位:百万円)		(単位:百万円)		(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	NFK ホールディングス	前期比(%)	日本ファ-ネス	前期比(%)	日本ファ-ネス製造	前期比(%)	光電機製作所	前期比(%)
売上高	333	82.6	3,445	(1) 5.7	250	6.6	190	211.1
売上総利益	305	54.4	857	(1) 243.2	27	17.3	44	244.4
営業利益	7	-	238	前期赤字	1	前期赤字	11	前期赤字
経常利益	(1) 45	-	241	前期赤字	1	前期赤字	10	前期赤字
当期純利益	5,072	-	193	前期赤字	1	前期赤字	6	前期赤字

(1) 前年度は6ヶ月変則決算につき、平成18年9月期下半期の実績と合算した12ヶ月実績との比較

(2) 雑損失45百万円(保険解約損)を含む

コスト意識の徹底、主力商品であるHRSバーナ、バスケットレス多段回転炉、アルミニウム合金熱処理炉などの拡販、営業体制の強化等の施策の結果
コアビジネスは黒字転換。今期(平成21年3月期)も増収の見込

7. 平成21年3月期計画と経営戦略

(単位:百万円)

科目	NFK ホールディングス	日本ファーンネス	日本ファーンネス製造	光電機製作所	(1)連結
売上高	322	3,940	240	200	4,702
営業利益	1	118	2	12	64
経常利益	1	121	2	11	66
当期純利益	22	71	1	11	36

(1)連結調整後の予想数値

- ❖ 上記は外部との提携等を折込まない「自然体」の数字
- ❖ ノンコアの資産や投融資の処理は完了しており、特別損益でぶれる余地は限定的
- ❖ 井上工業株の売却による「実質無借金化」を第一四半期(平成20年4～6月)中に達成し成長への新たなスタートを切る

注記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。